

事業名称
精神保健事業

目的	精神障がい者が地域の中で安心して暮らせる環境づくり及び自殺者を減少させるための環境づくりをおこなう	対象	市民
事業概要	○自殺対策事業 ・自殺予防・うつ予防等正しい知識の普及により市民自身が自殺対策のための気づき・つなぎ・見守りを高め、地域全体の意識の高揚を図り、自殺のない町を目指して、住みやすい地域をつくる。 (人材養成事業) ・自殺対策連絡協議会・自殺対策委員会・自殺対策作業部会の開催 ・ゲートキーパー養成研修 (普及啓発事業) ・自殺対策講演会の開催 ・ところをつなぐ仲間づくりフォーラムの開催(9会場) ・ゲートキーパー手帳の作成 (電話相談事業) ・豊後大野市こころのホットラインによる電話相談の実施 (強化モデル事業) ・事業評価のための調査研究 ○精神保健事業 ・精神障がい者の自立支援(回復、社会復帰)に向けての相談・訪問・デイケアの実施		

65

2. 指標設定

成果指標	指標名	自殺者数の減少	目標年度	指標の設定理由			
	数値		H25	豊後大野市は自殺者が多いため対策の強化を行う			
活動指標	指標	a	ゲートキーパー受講数	b	フォーラム・講演回数	c	遺族支援実施率
	数値	目標	450人	目標	33回	目標	80%

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
自殺者数の減少	人	18	10	11
	%	83.3	66.7	73.3

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a	ゲートキーパー受講数	91 人	331 人	462 人
		20.0 %	73.6 %	102.7 %
b	フォーラム・講演回数	8 回	39 回	49 回
		24.0 %	118.2 %	148.5 %
c	遺族支援実施率	50 %	90 %	91 %
		62.5 %	112.5 %	113.8 %
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
平成21年～24年までの自殺者の状況をみると50歳代・70歳代が一番多い状況にあり、原因動機別では健康問題があげられ、引き続き事業の推進を図る必要である。
対応（改善点等）
仲間づくりフォーラム・講演会・普及啓発などを通じて普及啓発につとめる。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

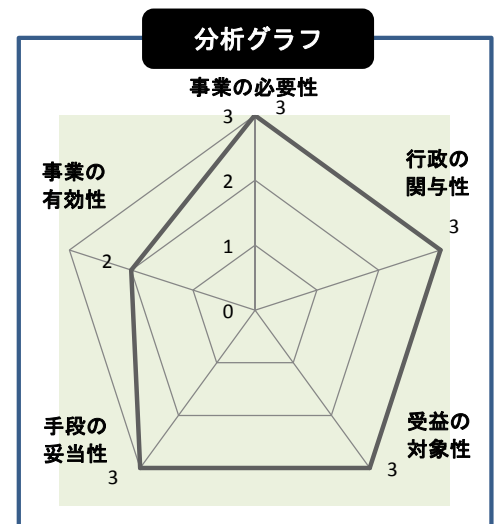
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
うち経常経費		1,883	3,701	3,460	3,235
財源内訳	国費				
	県費	1,836	2,141	1,878	3,167
	市債				
	その他		300	1,544	
	一般財源	47	1,260	38	68
うち経常					
事業費に係る人件費		4,380	10,965	10,734	10,112
事業費に係る人役		1.00	2.55	2.50	2.32

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市の重点課題として位置づけられているため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の重要課題であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 民間団体の立ち上げは困難であり、地域づくりにつなぐ必要性あり
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民全体が対象となる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のため適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 自殺率の減少率は高かったが引き続き評価する必要があるため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、適切及び効果的な事業を展開すること。